

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>理念は管理者を中心に全スタッフで話し合いの中で決めました。その一文に「ご家族や地域との結びつきを大切にします」とあり、地域の中の一員である、ということスタッフひとりひとりがいつも大切にできるよう心がけています。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>ホーム内に理念をいつでも確認できるよう掲示しており、ケアプラン作成時やカンファレンス時などに理念に近づいているか、振り返る時間を大切にしております。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。</p>	<p>ご家族へのお便りや運営推進会議の中でお伝えできるよう努めています。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>挨拶や笑顔をいつも心がけ、気軽に立ち寄って頂けるよう声かけを積極的にさせて頂いております。また、ホームで作ったお漬物などをお裾分けしたり、今では逆に畑でとれたお野菜を頂いたり、除雪をして下さったり、と地域の方々からのご協力を頂いております。夏祭りではご近所の方にもご案内させて頂き、たくさんご参加くださいました。</p>	<p>現在は大きい行事のみのご案内となっておりますが、例えば月一回ダンスや手品をしてくださるボランティアさんが来訪くださっている時にご案内をさせて頂いたり、お茶会などをセッティングさせて頂いたりすることで、よりご近所の方が気軽に足を踏み入れることができるホーム作りを心がけていきたいと思っております。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>町内会行事(新年会、敬老祝賀会、ふれあいサロン)等、入居者の方々と積極的に参加させて頂いております。</p>	
6	<p>事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>今現在、ホームにいらっしゃる入居者の皆様はどうしたらより良くお暮らし頂けるか、を考え、それをケアにつなげていくことだけで精一杯な毎日、地域にいらっしゃる高齢者の方にまで考えが至っていないのが現状です。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>評価を行うことで、普段のケアの中で狭くなっている視野を客観的に見つめなおすことができ、今ある課題を見出すことができるため活用させて頂いています。また、評価項目や指導結果などを職員全員に目を通してもらい、課題について話し合い、見直しています。</p>	
8	<p>運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>今までの会議での話し合いは、どうしたら地域の方々より交流できるか、ということが主で、そこで頂いた意見はできる限り反映できるよう努めています(近隣の方へ行事のご案内をさせて頂く等)。またその結果を次の会議で報告させて頂いております。</p>	
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>担当の地域包括支援センターへ、会議のご案内や議事録をお渡しする時等お伺いさせて頂き、色々のご意見を頂いております。</p>	<p>より密な連携強化が図れるよう、積極的に情報提供できる場を設けていきたいと思ひます。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>外部研修や、また社会福祉協議会等へ話を聞きに行かせて頂いたり、知識が深まるよう努めています。</p>	<p>全てのスタッフが周知できるよう内部研修に組み込みます。また、必要と思われる人にはきちんとお伝えできるよう積極的に働きかけていきたいと思ひます。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>外部研修に参加することで学ぶ機会を設けています。また、カンファレンス等で知識が深まるよう議題にしたり、例えば言葉だけでも虐待、拘束になりえる事があるのだと日々伝えることによって、防止に努めています。</p>	
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約・解約の際、また例えば見学にいらっしゃった方や今入居されているご家族の方へも日頃から何かご心配やご不安な点はないかお伺いするよう心がけ、ご理解、ご納得頂ける様ゆっくりお話をお聞かせ頂いております。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご意見等がある場合は、顔なじみであるスタッフが普段の会話の中からさりげなくお聞きし、スタッフ皆で話し合い、実現できるよう努めています。例えば今までにあったご要望：円山公園へお花見に行きたい 円山公園へお花見に行く等。		
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	1～2ヶ月に1回のご家族へのお便りでご報告させて頂いたり、必要時にはお電話でお伝えしております。また、ご家族の方がご来訪下さった時や運営推進会議の後のお茶会、家族会等の中でパソコンで制作した写真のアルバムやビデオを見ていただき日頃どのようにお暮らし頂いているかお伝えできるよう努めています。		
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	まず、入居契約時に苦情についての説明をさせて頂き、重要事項説明書の中でも明記させて頂いております。また第三者への苦情申し立てが出来るよう、ホーム内に掲示させて頂いております。もし苦情が寄せられた場合は、速やかにカンファレンスを行い、発生要因を分析検討し、サービス改善に努めさせて頂きます。また、玄関先に意見箱を設置しております。		
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	改善できる事案については速やかにその意見が反映できるよう努め、実現が難しい事案については職員皆が理解・納得できるよう創意工夫ができないか、話し合いに努めております。		
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	それぞれの状況に柔軟に対応できるよう勤務調整を行っております。(例えば発熱のため転倒の危険性が一時的に高くなった入居者の方がいらっしゃった時、その方が活動されている時間は通常一人対応の夜勤帯でも就寝までは2人で対応する(時間外にて対応)等)		
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	管理者及び職員ともに異動、離職は最小限であり、また異動等があった場合は入居者の皆様に不安を抱かせないよう努めております。(介護経験がある方でも入居者との関係性が全くないためすぐに一人夜勤は組まない、等) もし、突然の管理者異動等ある場合には、ご家族へお電話等で報告しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>外部研修には積極的に参加させて頂き、また研修受講者は研修報告書を提出し職員皆が目を通せるようにしております。また、ホーム内では内部研修を実施し、また愛全会グループホームで連携を図り、研修を企画、参加し、自己研鑽に努めております。</p>	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>北海道認知症高齢者グループホーム協議会会員として研修等に参加、交流させて頂いています。また、南区グループホーム管理者連絡会ではスタッフ交流会を年1回設け、交流を図っております。</p>	<p>同区また、市内のホームとの交流、勉強会等を行い、共に質の向上に努めていければ、と思います。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>親睦会をホームの職員で催したり、母体施設の方と共に定期的に親睦会を開き、ストレス解消に努めています。また、有休消化できるよう勤務表を工夫しております。</p>	
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>外部研修等に積極的に参加でき、熱意を持って働く事が出来る環境にあります。</p>	
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>見学にいらした際は、ご本人から意識的にお話をお聴きしたり、入居前には必ずお会いして、お話をお聴きするよう努めております。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>お話をお聴きする時間をゆっくりと設け、ご心配やご不安な事が出来る限り解消され安心してご利用につなげることが出来るよう努めております。ご来訪が難しいご家族の方へはご都合がよろしければお宅へお伺いさせていただきます。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいる きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>必要と思われる社会資源の情報提供をお伝えしたり、ご希望があれば、愛全会グループホーム事業室よりグループ内の他ユニット、もしくは他施設、在宅等のサービスの情報提供を行っております。</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>サービスをご利用されるまで徐々に馴染んでいただいてから、という方は現在のところいらっしゃらず、すぐにご入居されているのが現状です。ご入居いただいてからはなりますが、ご本人が徐々に馴染めるよう、ご家族様との連携は大切にできるよう努めております。</p>		<p>例えば、ホームの雰囲気や一日の流れを感じていただくために、利用開始まで遊びにいらして頂いたり、ショートステイをご利用いただいたり等、そのようなご要望があれば、ぜひ検討させていただきます。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>「ゆっくり、楽しく、一緒に」をモットーに、例えば、一緒に家事をする中で味付けやお料理などを教えていただいたり、遊びの中でもことわざや漢字を教えて頂いたり、歌を教えて頂いたり、してもらいだけではなく教えていただくような形で必ず感謝や尊敬の言葉を忘れないよう努めております。また、帰宅願望などでも不安を感じていらっしゃる時などには、介護者としての立場だけで接するのではなく、私もちょっと帰りたけれど帰れなくて困っていたんです…どうしたらいいのでしょうか…など内的世界を共有し一緒に困ったり一緒に協力したりすることで、強い孤独感や不安感等を少しでも小さく、そしてそこから気分転換することができるよう努めています。</p>		
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族の皆様にはできる限りご本人の状態をお伝えし、一方的にサービス内容をお伝えするのではなく、何がご本人にとって良いのかを一緒に考えることができるよう、努めております。</p>		<p>全てのご家族の皆様とそのような関係が築いていけるよう、これからも、コミュニケーションを大切に、信頼していただけるようなホーム作りに努めさせていただきます。</p>
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	<p>認知症の初期症状によってご苦労をされていたご家族の方から、「ようやくここに遊びにきても苦しくなくなった」とお言葉を頂きました。その時ご苦労されていたお話を差し支えのないよう少しずつながらお聴きしたり、いまご心配な事やご不安なことなどお話できるような環境、関係づくりを心がけております。お時間を要するとは思いますが、できる限りご家族とご本人のよりよい関係性が築いていけるよう、もしくは修復できるようご家族の方のお話を大切に、そしてご本人と一緒に過ごしていただける時間を大切に考えております。</p>		
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご家族やご友人などが気軽にご来訪できる環境づくりやご本人が希望される場所へできる限りお連れできるよう支援させて頂いております。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	入居者の方同士の相性や自発性を大切に、入居者の方同士で助け合っている時にはその関係を大切に見守りつつ、お互いにとって過度のストレスや混乱とならぬよう適度なところで交代するなど、さりげなくフォローできるよう支援しております。また、対人関係が苦手な方でも孤立感を感じないよう、共通の趣味を楽しめる場をさりげなく設定し自然に連帯感を感じていただけるようこころがけております。また、自室へ引きこもる事のないようリビングで充実していただけるような場づくりを心がけ、ご自分から皆のいるところへ行きたいな、と思っただけよう努めております。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	現在、契約終了となられた方で継続的な関わりを必要としている方はいらっしゃるが現状ですが、例えば退去後の移動先へ面会に行かせて頂いたり、ご家族の方とどこかでお会いしたりした時は気軽にお声をかけて頂き、ご本人の近況をお聞かせいただいたりと、皆様とのよい関係を継続できるよう心がけております。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1.一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃からご本人とお話からご意見やお気持ちを大切にしております。また上手に気持ちを表現することが出来ない方についても端々の言葉や単語、その場面ではどのような行動・表情をされていたか、という事を大切に、スタッフ個人の感情や視点に偏ることのないよう、スタッフ全員が参加するカンファレンスで検討させて頂いております。また、ご家族からもお話を聞くことによって、どのようにお暮らしたいのかお一人お一人のご希望を把握できるよう努めております。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人に、及びご家族、ご親戚、ご友人が来訪下さった時などに少しづつ差し支えない程度にお話をお聴きしたりすることで把握に努めております。また、センター方式のBシートをお渡しさせて頂き、ご家族のご協力を得つつ把握に努めております。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	一日の流れやその場面での表情や行動等記録に落とし、把握に努めております。またそのためにセンター方式を取り入れていますが、まだ入居者の方全員ではないのが現状です。		アセスメントにセンター方式を導入できている方とまだ既存のアセスメント方式をしている方といらっしゃるの、スタッフ皆がセンター方式でのアセスメントが出来るよう、現在研修中です。
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご家族がご来訪されたときにケアプランに目を通して頂き、ご要望をお聴きして反映できるよう努めております。また、月1回のカンファレンスを行い、介護支援専門員とともにスタッフ全員で話し合いケアプラン作成を行っております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	3ヶ月に1回だけの見直しではなく月1回のカンファレンスで定期的なモニタリングを行いその状況に応じ評価、見直しを行っております。また、例えば突然の身体、心理状況の変化や入退院があった場合には随時見直し、もしくは新たに作成しております。		
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。	お一人お一人のケアの実践結果やその時のご様子等を項目別に記入し、カンファレンス前にその記録から評価につながるよう努めております。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	ご家族の受診対応が難しい時は協力病院以外でも受診対応致しております。また現在はサービス利用の実際はまだございませんが、ショートステイの受け入れは可能な体制となっております。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	お元気な頃ダンスを趣味とされていた方がホームでの暮らしの中で少しでも継続できるように、とダンスボランティアの方が定期的に訪問して下さり支援して下さいます。そのほかにも定期的にお話に来てくださるボランティアさんがいらっしゃいます。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	他のサービスのご利用をご希望されたいり、必要とされているご入居者の方は現在いらっしゃらないと認識しております。		もしご入居者の方もしくはご家族の方よりそのようなご希望があれば、他事業者やケアマネの方とご相談させて頂き、随時柔軟に対応できるよう努めさせていただきます。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	現在包括支援センターの職員の方とは地域運営推進会議での関わりや行事へご参加くださるだけの関わりに留まっております。		もしご入居者の方もしくはご家族の方よりそのようなご希望があれば、包括支援センターの職員の方にご相談させて頂き、随時柔軟に対応できるよう努めさせていただきます。また、そのようなご要望時に協同支援がすぐ実現できるよう、包括支援センターとの関係作りに努めてまいりたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ご本人の状況、体調に応じて、またご本人、ご家族のご希望を大切に訪問診療や外来受診にて対応しております。現在はご家族のご要望で定期受診のほとんどが職員が代理で行っておりますが、いつも同行して下さるご家族の方もいらっしゃいます。また、かかりつけ医と事業所との関係を築きながら、気軽に相談、休日や夜間等いつでもオンコールできる体制となっております。また適切な医療を受けて頂ける様、必要な方には複数の病院を受診し、各医療機関と連携していただける様、支援させて頂いております。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	同区にある専門病院へ定期受診されている方もおり、かかりつけ医との連携を図りながら、認知症の診断、治療ができるよう支援させて頂いております。また、幻覚等強い方などは専門医を受診し、同じく認知症についてのご相談をさせて頂いたりしております。		
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	週1回契約している訪問看護ステーションより看護師が訪問下さり、入居者の方の日常的な健康管理をして下さっています。また、24時間オンコール対応となっております。スタッフの不安や疑問にいつでも対応して下さっております。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時には情報提供書の他、必要であれば口頭で病院関係者とお話できるよう積極的に関わりを持つよう努めております。また、医師とご家族のお話し合いの時には管理者も参加させて頂いております。急性期医療を必要としなくなり、ホームでのリハビリが有効と判断した時には、積極的に退院を提案させて頂いております。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	重度化を目の当たりにしているご入居者の方に対しては、ご家族や医師との相談は繰り返し話し合い、全員で方針を共有できるよう努めていますが、現在介護度が軽いご入居者の方々に対しては今後の重度化した場合や終末期のあり方について話し合っていないのが現状です。		重度化、終末期に向けてご家族、かかりつけ医との話し合いが出来るよう努め、事業所としてどこまで支援できるのかを明確にし、ご家族に説明していくことが必要だと感じております。また、終末期に関わる意思確認書の作成にも取り組んでいきたいと思っております。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	現在の体制の中で、重度化されてきているご入居者の方に対してでもできる限りの支援ができるよう努めております。たとえば2階建てのため現在2階にいらっしゃる方が徐々に重度化していくことに対し、必要な専門医への受診を行ったり、かかりつけ医にご相談させて頂いて、お薬の見直しを行ったり、ご家族の方の同意のもとセンサーマットやポータブルトイレを設置させて頂きリスクを最小限に抑え、今現在の暮らしが少しでも長く継続できるように取り組んでおります。また、重度化にともないお元気だった頃との違いやリスクなどをご家族にご説明させて頂きご理解頂ける様努めております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49	住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	移り住む際は情報提供を事前に行い、必要があれば電話連絡等口頭での情報交換が出来るよう努めております。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	それぞれの居室へ入室する時には、たとえリビングにいらっしゃる場合でも事前にお声をかけたりノックをしてご了解を頂いております。また日頃の会話の中でも人生の先輩として敬意を持ち、トイレ誘導の時などは皆様に気づかれぬようさりげなくお声かけさせて頂いております。また実習生等へ記録などを参考に閲覧していただく場合は個人名を消したりすることで、個人が特定できぬよう配慮しております。		
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	個人個人のお力に合わせ、例えば日常着等ご自分で全てを選ぶことが出来る人にはその意思決定を尊重し、たくさんの中から選ぶ事は難しい方にはまずスタッフが2つ3つをご用意し、その中から選んでいただけるようにその方に適切な方法で少しでも自己決定していただける様工夫し取り組んでおります。また、レクリエーションなどもこちらから勝手に決めるのではなく、テーブルの上に複数のもの(毛糸、本、雑誌、かるた、歌の本等)などをご用意することでご自分から興味のあるものに、さりげなく選んでいただけるような環境づくりをしています。		
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ホームの一日の流れを絶対とすることなく、ご入居者の方のお気持ちやご希望を優先出来るよう努めております。例えばお昼寝をしたいのでお部屋に連れて行ってほしい、等ご希望があればすぐにお連れしたり、散歩に行きたい時や入浴をご希望される時など可能な限りその方のご希望に添えるよう努力しております。しかし、例えば受診介助でスタッフが一人外出していたり、夜勤帯でのご希望だった場合等はこちら側の都合をお願いし聞き入れて頂く場合もございます。		リスクを考慮しつつできる限りご希望に添えるよう努力、工夫をしていきたいと思っております。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、利用・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	ご入居の時に必ず行きつけの美容室がないかどうか確認させて頂いております。なじみの美容室があればそこへお連れする体制ではありますが、現在は皆様のご希望により移動美容室をご利用されていらっしゃる方がほとんどです。外出時にはご本人の意思を尊重しつつさりげなくおしゃれを着ていただいたり、鏡を見ながら口紅を引いていただいたり、又おしゃれに関心の強い方へはお風呂上りにカーラーを巻いてセットしたりしております。		
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしているか。	買い物から調理、盛り付け、後片付け等ご入居者の方と一緒にしております。また、目に自信がない方は盛り付けやお皿の片付けをして頂いたり、例えば調理は苦手だけれど以前は自宅でお茶を煎れて良く飲まれていた方へはお茶煎れをお手伝い頂いたり、家事を手伝う体力がない方はテーブル拭きだけお手伝い頂く等、おひとりお一人に合わせ、負担ではなく生き生きとした活動の場となるよう、心がけております。重度の方でも食事の準備をしているキッチンで雰囲気や音、香りを感じていただいたり、野菜などを触って頂いたりしております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。</p>	<p>現在タバコ、お酒を嗜む方はいらっしゃいませんが、お酒などは行事の時に気軽にお飲みいただけるようご用意しております。また、コーヒーをお出しする時はミルクは入れない人、砂糖がいない人、コーヒーは苦手なのでその方にはココアをお出しするなど皆様一人おひとりの好みを大切にしております。ジュースをお出しするときは例えば、りんごジュース、オレンジジュース、カルピス等2～数種類をご用意しお選びいただいております。</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。</p>	<p>失禁が目立ってきた方にはすぐにパットやオムツに移行せず、自尊心を傷つけないようさりげなく下着交換を促す事から初め、必要であれば泌尿器科への受診を行い、できる限り失敗体験を増やさぬよう、排泄パターンをアセスメントし、トイレへの声かけを行うようにしております。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。</p>	<p>ご本人のご希望に合わせご入浴いただけます。(現在はご自分からご希望される方が少なく、こちらからお声かけさせて頂くことが多いです。)</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。</p>	<p>薬に頼ることなく、日中の行動量を見直したり、適切な水分量や排便を整え、リズムのある生活が出来るよう努めております。なかなか寝付けない方などには就寝前に温かいものをお飲みいただいたり、足浴をして頂いたり、工夫をしております。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。</p>	<p>それぞれの得意なこと、不得意な事を把握するように努め、その方々にあった余暇活動を支援させて頂いております。例えば和裁で生計を立てていた方には、人形の着物づくり、レース編みを得意としていた方には花瓶の敷物づくり、毎日食事の買い物が好きだった方にはお買い物に、何をするのに大儀だけれど歌が大好きなら歌と一緒に歌って頂いたり、等達成感や充実感をそれぞれ感じていただけるよう努めております。</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>ご家族の了解のもと、ご希望される方はご自身でお財布を持ち、金銭管理のできる部分はしていただいております。そこからご自身のお好みのおやつなどを購入される時もあります。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	特別な行事に限らず、日常にお散歩や買い物、喫茶店やドライブなど気軽に出かけられるよう努めております。また、回覧板やご近所へのおすそ分けなどに一緒に出向いていただいたりしております。また、暖かい日などには、積極的に外でのお茶会も行っています。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが言っていたい普段はいけないうちに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	毎年一泊旅行を行っており、温泉や旅行を楽しんでいただけるよう支援しております。「まさかここで旅行ができると思わなかった」と大変ご好評をいただいております。また、地下街を散策したり、デパートの食堂で外食したりと色々な所へお出掛けできるよう努めております。		
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	公衆電話を設置し、いつでもご自由にお電話を利用して頂けます。またホーム便りの空欄を用いてご家族の方にご本人が書いていただいたりしております。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	いつでもご来訪いただくことができ、居心地良くお過ごしいただけるよう配慮しております。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	カンファレンス等でスタッフ皆が身体拘束の禁止の対象となる具体的な行為を伝達し、理解を深める事に努めたり、身体拘束をしないケアに取り組んでおります。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中は施錠をせず、自由に入出入りできる環境となっております。また服装チェック表を用いて行方不明防止に努めています。常にリビングにはスタッフが1名いるようにし、やむを得ずその場を離れる時にはスタッフ間の声かけ等連携を強化して事故防止に対応しております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67	利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	キッチン調理しながらもリビング全体を見渡せるつくりとなっております。また、記録をする時にもお茶を入居の方と一緒に飲みながら傍らで記入しております。自室にいるときも失礼のないようにしつつ、定期的に巡回させて頂き安全確認を行っています。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	薬や包丁、塩素漂白剤等はまとめて鍵のあるところで保管し事故防止に努めております。しかし、お花や室内のソファ、テーブル、じゅうたん等生活を潤すものだったり、馴染みとなってらっしゃる生活用品に注意が必要になってきた場合はすぐに撤去するのではなく、巡回を多くしたり、見守りを強化することによって対応させて頂いております。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	内部研修等で救急対応を学ぶ機会を設けたり、薬の取り扱い時のマニュアルを作成したり、行方不明防止のためにチームの連携の大切さを日頃から意識したりすることで事故防止に努めております。また、もし事故が起こった場合でもすぐにその日の日勤スタッフで事故の原因や、今後防ぐためにどうしたら良いかを話し合い、全体のカンファレンスで全員に周知徹底するように努めております。		
70	急変や自己発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	グループ内の研修で消防を招き訓練を救急法の訓練を行ったり、カンファレンス等で応急手当の方法についてお話を頂いたり、急変時の対応マニュアルを作成し、急変や事故発生時に備えております。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年1回避難訓練を行っております。また地域の方へ日頃からのコミュニケーションを通じて協力体制を呼びかけられるよう努めております。また消火設備の定期的な点検、見直しを行い、防火マニュアルを作成し、有事には皆様を安全にお守りできるよう努めておりますが、より地域との連携が必要だと感じております。		年2回避難訓練を実施します。又、その際は地域、近隣の方にもご参加、ご協力頂けるよう働きかけてまいりたいと思います。
72	リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	今現在のご状態をお伝えすると同時に、今後起こりえるリスク等ご説明させて頂きご理解を頂いてくださっております。また、リスクの危険があるからと消極的になることなく、きちんと下見をして計画を立てたり、外出する方とお留守番をする方のバランスを考えたり、対応するスタッフの人数を検討するなどリスクをマネジメントしながら積極的に外出していただける様努めております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>	<p>常に顔色や表情、行動等いつもとお変わらないかさりげなく観察を行い、必要であればバイタルの確認、訪問看護師や医療機関、及び管理者へ相談・報告する体制となっており、速やかな対応が出来るよう努めております。</p>	
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬局より、薬の名前、効能、副作用が示された紙をもらい、スタッフ全員が目を通しております。薬の変更等があった場合は個人記録、生活日誌、連絡ノートに記載し、周知を徹底しております。また変更時には観察を密にし、変化があればすぐに医師に報告、相談を行っております。</p>	
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>	<p>便秘気味の方がいらっしゃる時には積極的に繊維質の多い食材を献立にしたり、水分を多めにお飲み頂いたり、お散歩やホーム内でも歩いて頂くこと意識したり、とアプローチしております。その上で便秘がちな方へは整腸剤や下剤を使用頂くこともあります。排便の兆候から落ち着きがなくなったり、行動障害が強くなったりすることをスタッフ皆が理解しており、おひとりおひとりのそのような時の行動パターンを理解し、トイレ誘導へつなげたりすることで、お手洗いでしっかりと排泄して頂けることがほとんどです。</p>	
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>	<p>ご自分で出来る方へは声かけを、みまもり、誘導が必要な方へはさりげなく洗面所へ誘導し歯磨きをしていただける様促しております。介助が必要な方へはご自分でしていただいた後に最後に自尊心を傷つけないよう介助させて頂いております。</p>	
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>なかなか水分をお飲み頂けない方へは、湯のみを小さくして量を多く感じさせない工夫をしたり、スタッフと会話をしながら一緒に飲む事で、さりげないモデリングを行ったりして水分量が確保できるよう工夫しております。また、野菜嫌いな方などへは栄養バランスが少しでも整うよう、おやつに人参やホーレン草のケーキや、カボチャもちなどを作ったり、野菜ジュースなどをご用意させて頂いたりすることなどで工夫しております。水分チェック表を用いて、一日の水分量の把握に努めており、必要な方へは食事量を記録し落とし、栄養が確保できているか、確認しております。</p>	
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症予防のマニュアルを作成し、毎日のうがい手洗い、手すりや蛇口等の塩素消毒などを日頃より実践しております。また、勉強会やカンファレンスの中で情報を共有したり、注意を呼びかけたり等、感染症予防の意識を常に持つよう意識しております。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>ふきんは一度使ったものはそのまま洗って消毒しております。台所やまな板などもこまめに塩素消毒を行い食器や箸、ミキサー等は食洗機で高温洗浄しております。買い物へ毎日行き、常に新鮮な食材を使用しております。夏場は調理器具等にアルコール消毒を行ったり、作ったものを盛り付けるまですぐに冷蔵庫で保存するようスタッフ間でも注意し合ったり、カンファレンス等で常に食中毒予防の意識を高く持つよう喚起しております。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>玄関周りや玄関内に季節の花々を飾り、温かい雰囲気作りをしております。気軽に入居者の方が外気浴や日光浴にご利用いただけるように、また近隣の方が気軽に立ち寄ったり一休みできるようベンチを設置いたしました。</p>		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>キッチン是对面式となっており、皆様が気軽に家事ができるよう、また調理の音や、匂いなどを感じていただけるようになっております。又、リビングには常に季節感を感じていただけるものを飾ったり、(正月なら繭玉、節句には桃の花、夏にはほうづき、十五夜にはすすき等)皆様で作った作品を飾ったりすることで、温かい家庭的な雰囲気づくりを行っております。テレビを消し、懐かしい歌謡曲や童謡などをBGMで流すことで、自然に鼻歌を歌ったりそれをきっかけにお話の花が咲く、ということもございます。</p>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビング内にソファを置き、気の合う入居者の方が自然に集えるような環境となっております。また、2階ホールには小さいテーブルやいすをご用意し自由にご利用頂けます。本棚を設置したり観葉植物をたくさん置き、安らいでお過ごしいただけるよう工夫しております。</p>		
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご家族方のご協力を頂きながら、仏壇や使い慣れた家具、鏡台、ぬいぐるみ、時計などをご持参頂き、居心地よくお過ごしいただけるよう工夫しております。また、ご本人やご家族との写真を飾っていらっしゃる方もあります。</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>こまめに喚起を行い、室温、湿度の調整に努めております。又、冬には加湿器を設置し湿度の確保に努めております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>		
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>		

サービスの実績に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんど掴んでいない</p> <p>日頃の表情、行動を細かに観察し、ご本人の好みやペースを大切にケアを行う事を努めております。また、入居時やその後ご本人、ご家族のご来訪時等、コミュニケーションを密にして、以前はどのようなお暮らしだったのかをお聴きし、少しでも継続した生活ができる様、心がけております。(買い物が好きだった、時代劇が好きだった、等)</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない</p> <p>家事や趣味等、スタッフと入居者の方と一緒にしております。また手作りのおやつをお茶会風にして一緒にお話ししながら頂いたり、夏場など一緒にお散歩したり、と毎日ゆっくりと関わりを持つようにしております。</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p> <p>ご本人の思いや自発性を大切に考えております。おひとりおひとりのペースをお守りいたします。しかし、夜勤帯や受診時等スタッフの状況によりこちらからお願いすることもございます。</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p> <p>家事や趣味等していただいた時には必ず感謝の言葉や尊敬の言葉を、充実感や達成感を感じていただけるように必ずお伝えしております。またできないことをしていただくのではなく、ご本人が好きだったり、得意な事を楽しんでいただけるよう、おひとりおひとりに取り組んでおります。</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p> <p>ご本人の意向を大切に、外出等行ったり、ドライブ、買い物等に日常のお出かけしております。車酔い等する方や重度な方でも夏場は散歩や日光浴など外の空気や太陽を感じていただけるよう積極的に外へ出ております。しかし冬場はリスクの面等からなかなかお出かけできず、課題となっております。</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p> <p>同グループの病院が協力病院となっており、土日や夜間等緊急時には相談できる体制となっております。また、週1回訪問看護師による日常的な健康管理も行ってあり、安心していただいております。必要時には必要な科への受診も行ってあります(泌尿器科、精神科、皮膚科等)</p>
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p> <p>例えば、身体的な変化や、精神的な変化等、細かく観察することでその変化等に柔軟に対応できるよう努めております。</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>ほぼ全ての家族 家族の2/3くらい 家族の1/3くらい ほとんどできていない</p> <p>ご来訪時ご家族とのコミュニケーションの時間を大切にしております。</p>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない</p> <p>ボランティアさんやご近所の方等、お顔を出してくださいます。</p>

サービスの成果に関する項目			
	項目	取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	会議でお声があったため近隣の方もご参加いただけるよう、行事にお誘いしたところ、興味を持って参加くださったり、気軽に声をかけていただけるようになってきております。町内会行事にも快く参加させて頂いております。
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	それぞれの力量、そして個性を發揮できる環境となっております。退職をされる方が少なく、ほとんどのスタッフが長年勤めており、入居者の方、ご近所の方、ご家族の方とすっかり顔なじみの関係となっております。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	少しの行動障害がみられる時はありますが、安心してお過ごしいただいていると自負しております。特にそれを感じるのは、入居者の方の日常の中の皆様の表情やお言葉からです。そのご表情やお言葉にスタッフ一同パワーをもらっている毎日です。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない	運営推進会議やアンケートでそのようなお声をいただいているのを励みにしております。皆様のご期待にこれからも添えるようよりよいサービス作りに努めさせていただきます。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

顔なじみのスタッフの中、笑顔一杯のホームです。今までの暮らしや趣味をできる限り継続できるよう力を入れており、「ゆっくり、楽しく、一緒に」をモットーに達成感や充実感を一日の中で少しでも多く感じていただけるよう努めています。今持っている力をたくさん發揮できるよう入居者の方のご活躍する場を大切に考えております。ホームだけの暮らしではなく、町内会の行事に参加したり、ご近所の方とのふれあいも大切にしております。